

触手



七

成人向

触手



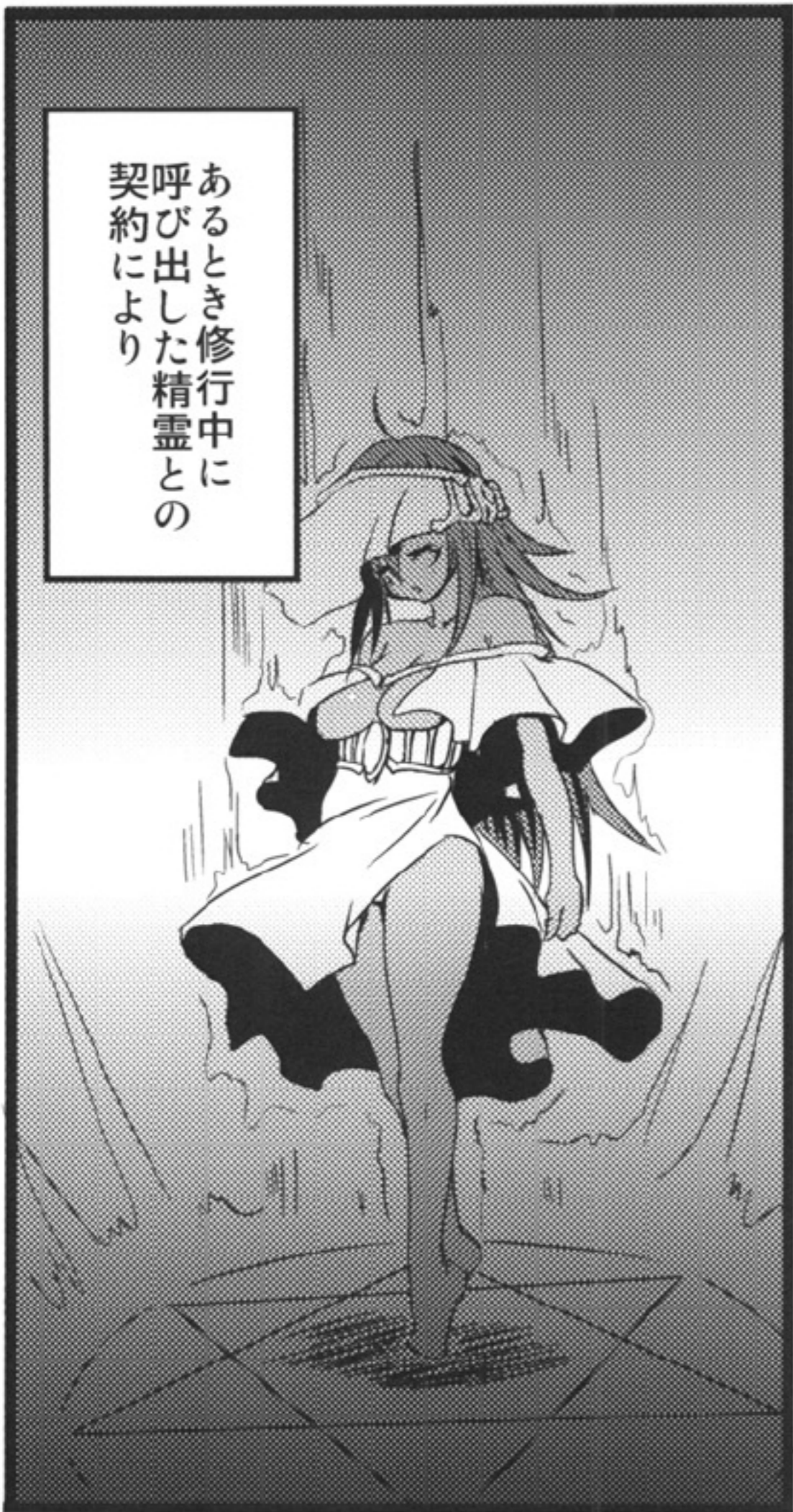
さし

回

私の名前はマナ
神官を目指す女の子



あるとき修行中に
呼び出した精霊との
契約により



世のため人のため戦う
魔法少女(?)としての
生活をおくることにな
ったのです





そんな私のもとに
今日も助けを呼ぶ声が
聞こえてくるのです



マナ!!
聞こえたか
今の悲鳴が...



悲鳴!



起きんか!



もうたべられ
ないよう

きこえん...



なんだマナ
気合が入るよう
もう一発ほしいのか？

やめてください
しんでしまいます



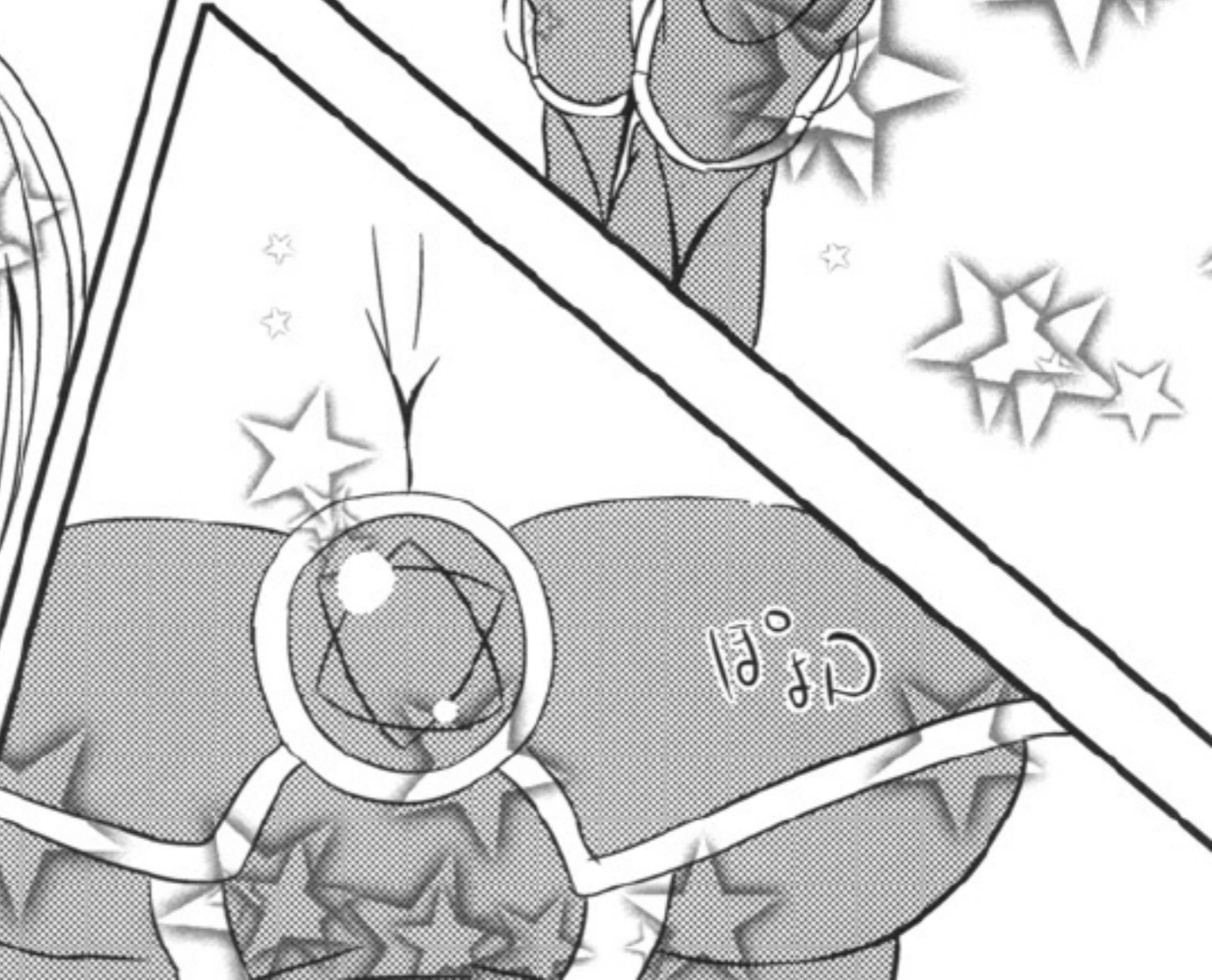
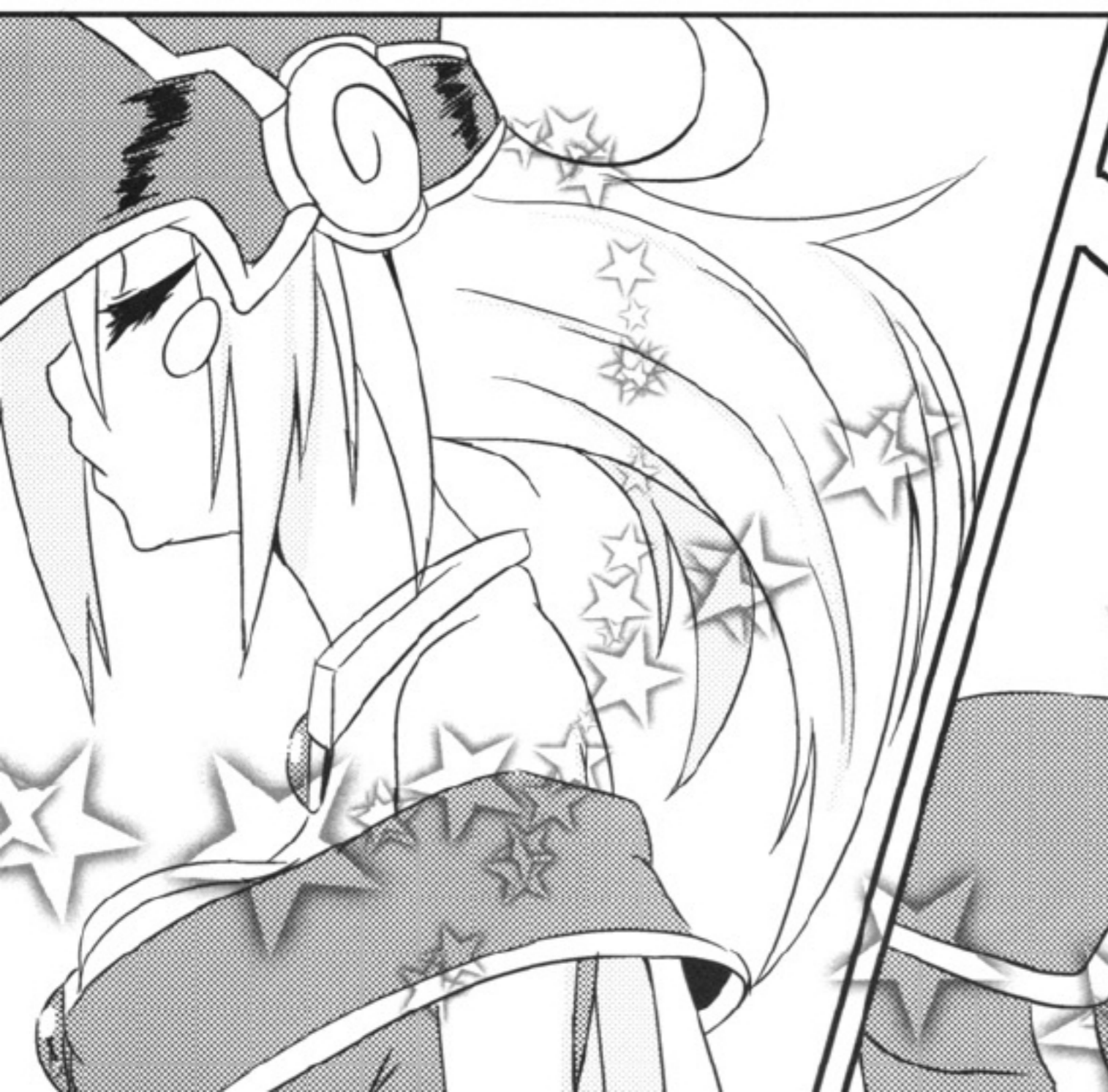
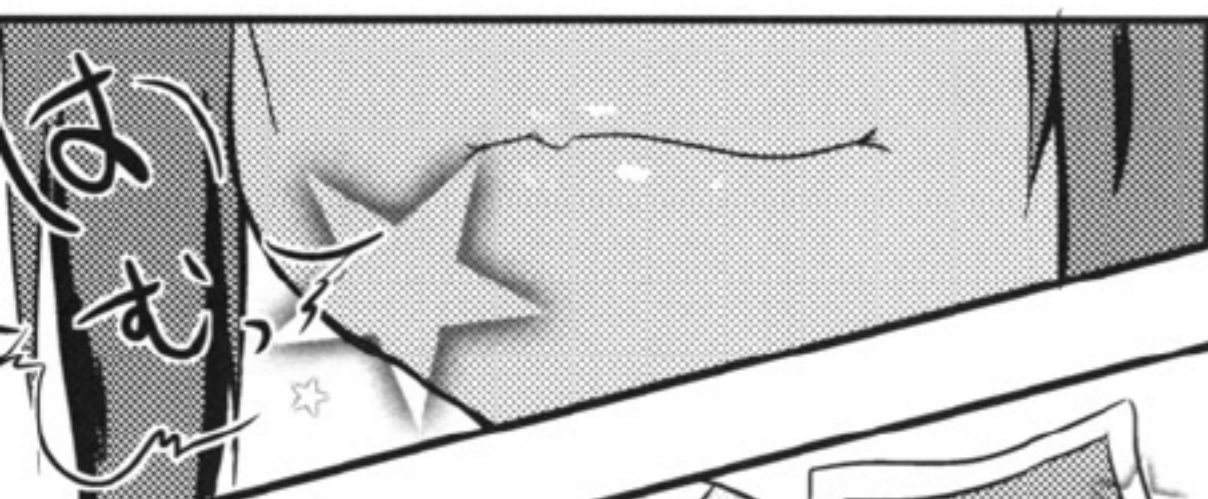
マジさん待ってください
移動が早いですよ

なにをしておる
ちやきちやき
歩きなさい

そんな事言われても…
さっきのダメージが



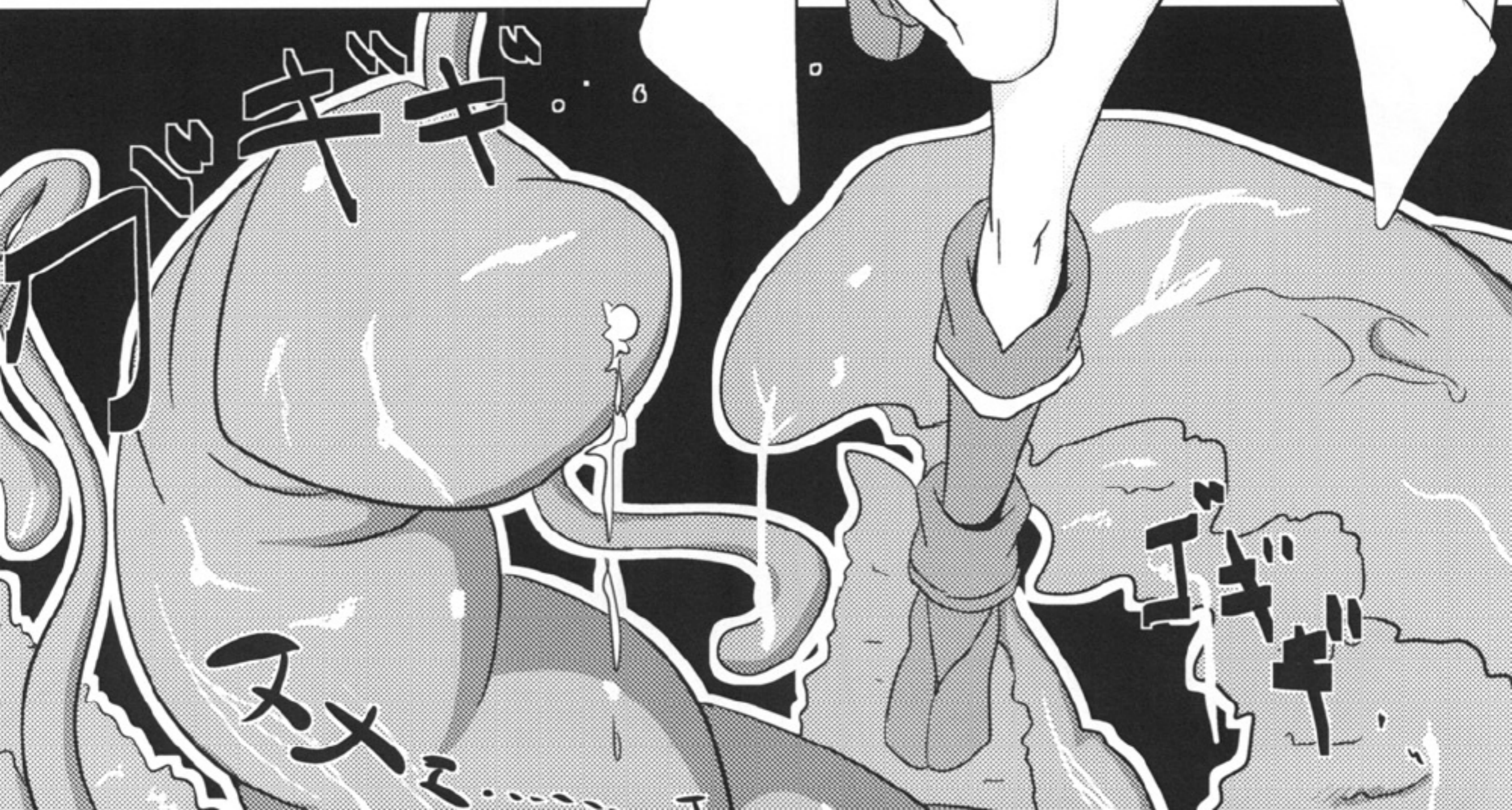
いたよ
あそこだ





ぐわぐわぐわ

その娘を放しなさい



ぐわぐわ

ぐわぐわ





チャンスは今しかない



しめた、女の子から
触手が離れた



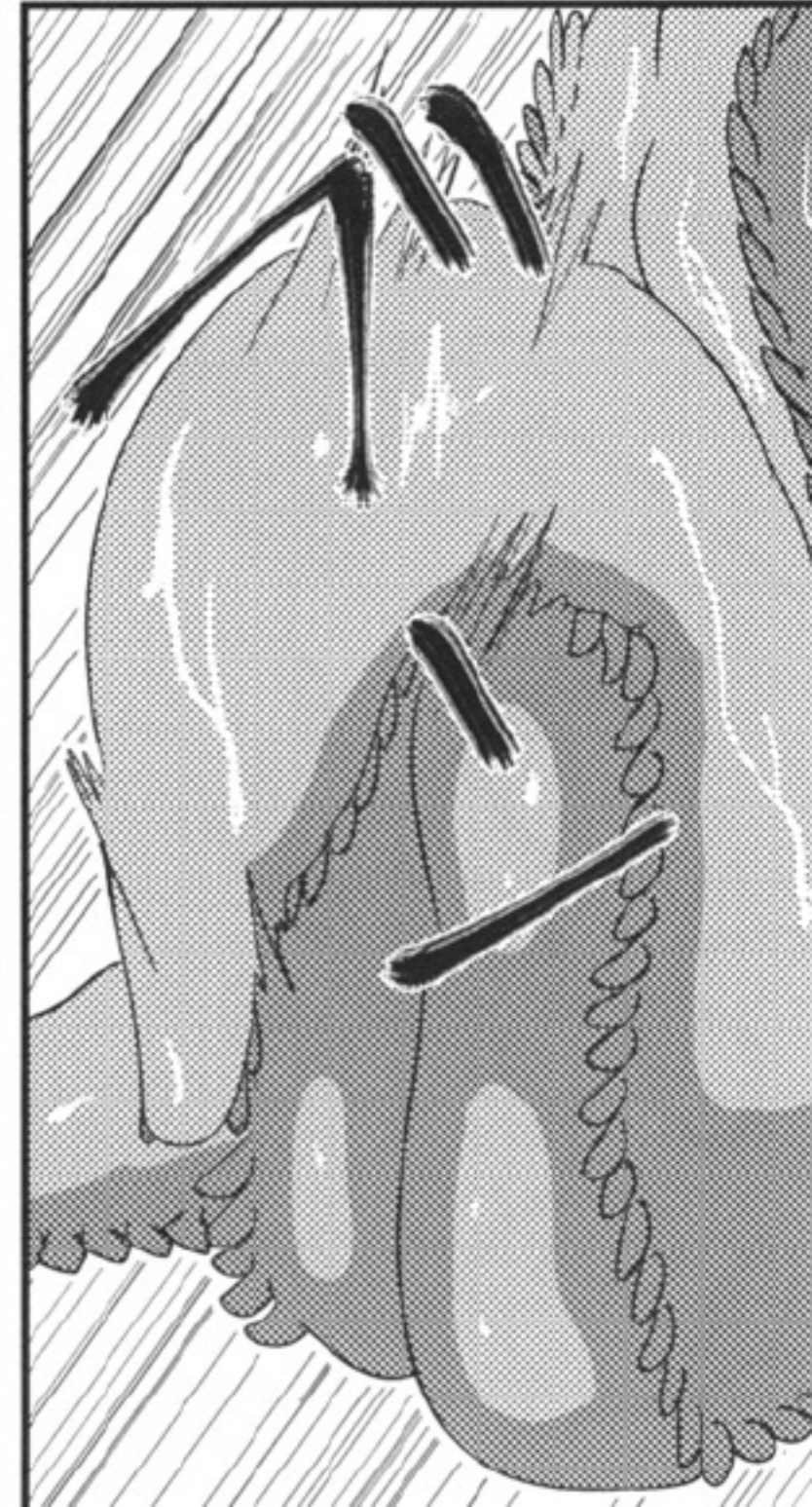
ハッ、

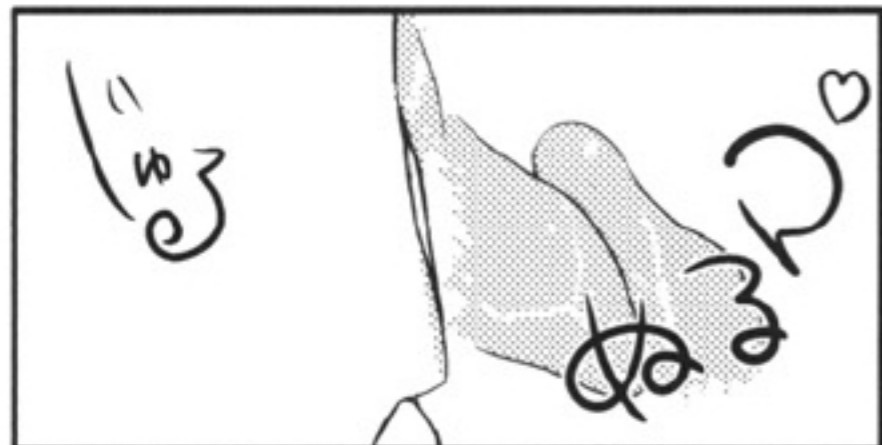


ズン
ズン
ズン



えん？









あはっ
油断はいけないわよ
と言っても
もう遅いのだけれどね

失敗しました
すでに寄生された
後だったのね

しゅる





何をっ!!



では 始めましょう



大丈夫よこの子達に
あなたも任せればすぐに
気に入るわよ

触手にこんなにも
強く拘束されてるのに
ほとんど痛くない
むしろ...

痛い

放せ!
触るなっ!



なにを っってこんなに
乳首とがらせて…
わかって期待して…
いるのじゃないの？

ふる

ぴんぽ

ちよっと
何をするのよ



じゃあ
始めましょうか



ぱよ

とぎん

気持ち悪いの
に
この触手を見てる
だけで
体があつ

とぎん…



ぎんぽ



ひん

はも

はも

トギん♡

トギん♡

期待なんかして…
何よこれ
気持ち悪い…

気持ち悪いなんて
ひどいわね
これからとつても
気持ちよくしてくる
子なの

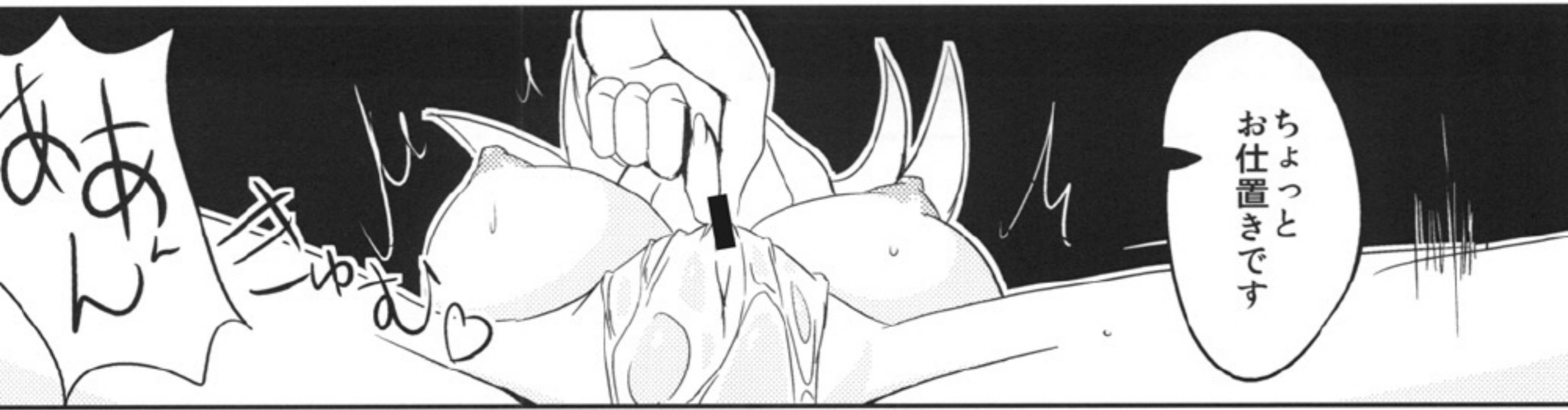




おもしろするなんて
だらしないですよ
あはは



うう、みるな
見るなあ...
これ以上されると
わたしが...



ちよっと
お仕置きです



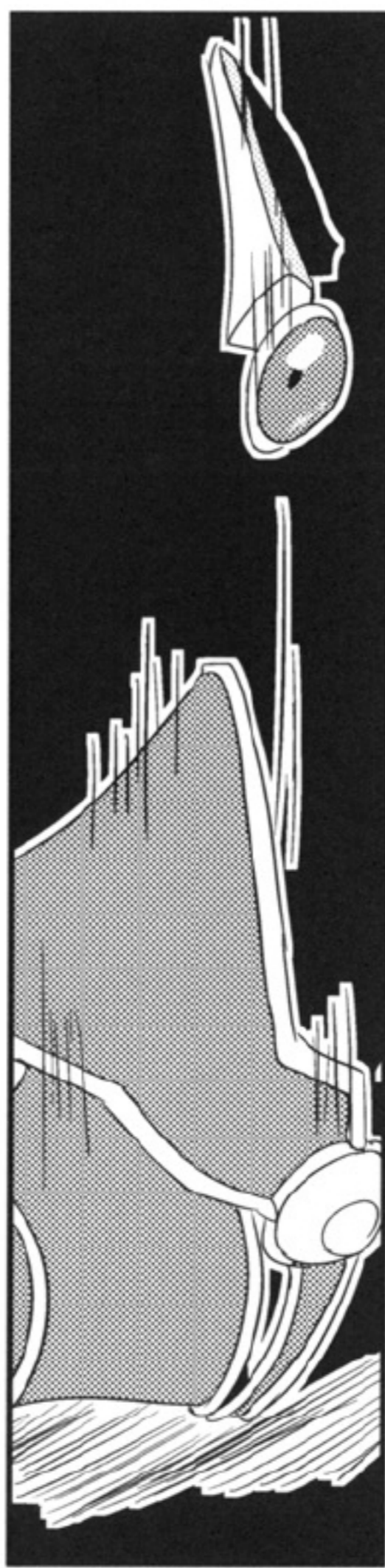
ははは
すごい感じようね
あはは



すごい...
こんなに気持ちいの
はじめてっ



あらら、気を失って
しまいましたか：
今のうちに場所を
変えましょうか





ふああく……
よく寝た……
あれ？



……ここは……どこ……
なんでわたしは……

ホッ



おはようございます
よかったです
ぜんぜん起きないので
心配したんですよ



あなた……
ここはどこなの
私をこんなところに
連れてきてどうする
つもりですか

ちよつと
落ち着いてください
説明してあげますから

簡単なことですよ
あなたにも協力して
もらおうと思ひまして

協力？

あなたみたいにかの
強い人から生まれた子は
特別な力を持つてるのは
私みたいな普通の子では
到底及ばないような
力を持った子がね…

ふざけないで
ください

私は協力なんか
しませんよ

あなたにもこの子たちの
繁殖を手伝ってもらおう
と思ひまして

はい

グギ

グツ

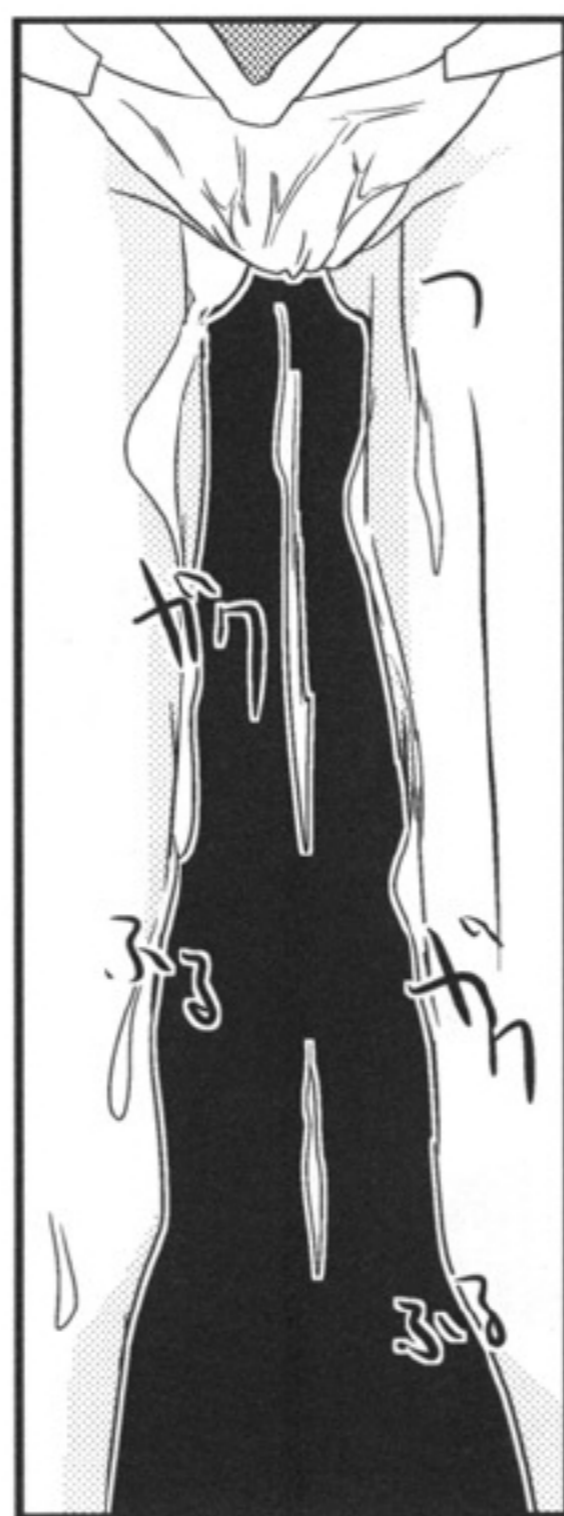
グギ

あははは♡

別にあなたの同意を
得ようなんて
思っけていませんので
安心してください
同意を得られるなんて
思っけていませんし

ニッコウ♡

問題なのは私がやる
と決めたことですよ
それにもこの子達は
とつても上手なので
あなたもすぐに虜に
なりますよ



この蟲はですな
私に寄生した場合は
体内を喰い荒らして
ただの入れものになるだけ
なのですけが

貴女みたい人に
魔力を持った人に
寄生するとその魔力を
使って繁殖するため
体中の性感をあげて
繁殖のための母体に
するのですよ

使った魔力量に応じて性感が
つりあがる量が変わるのですが
あれだけの魔力を使ったので
正直今から何をされても全部
快楽に変換されちゃいますよ

まあ説明したところで
もう理解できない
でしょうけど



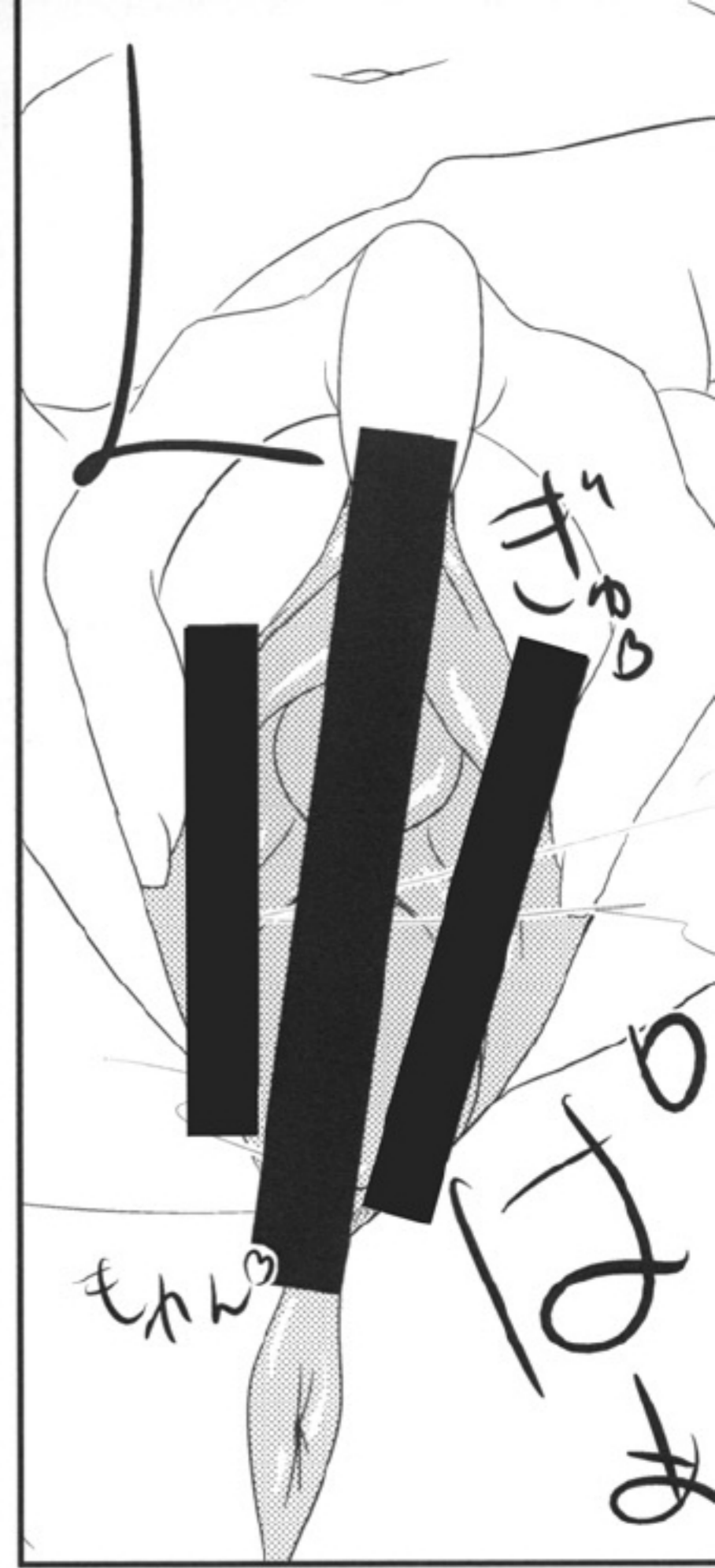
さあ 始めましょう





すごいなこれ…痛いはずなのに
気持ち悪いはずなのに
くすぐったいはずなのに全部…
全部が…

全部が



最高こ…



全部が…



体力の限界が来ても
際限なく犯され続け




それからわたしは
正気を保てないほどの
快楽をどれくらいかの
わからぬほど長い時間
あたえられ続けました

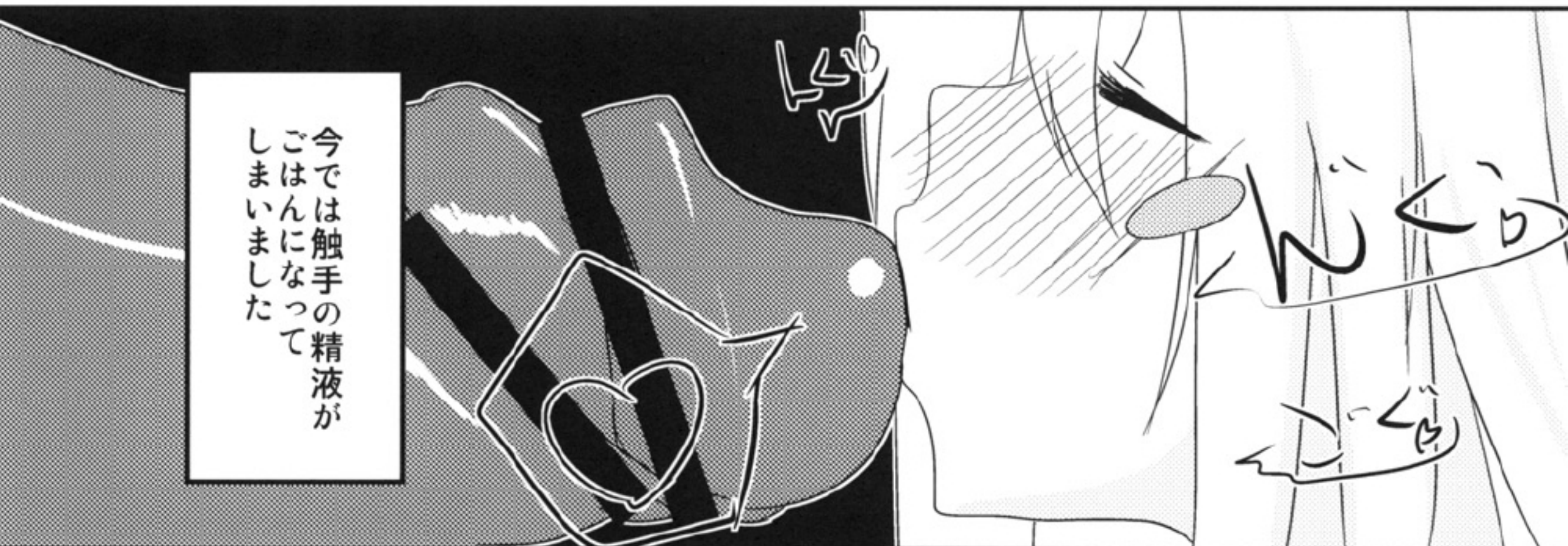
全身の穴で触手が
入ったことのない
穴はなくなり




子宮に収まり
きらなくなっても
触手の精液を
流し込まれ続け



いくら乱暴に扱われようとも
私の体はその刺激をただひたすらに
快楽として受け入れ続けてしまうのです



今では触手の精液が
ごはんになって
しまいました



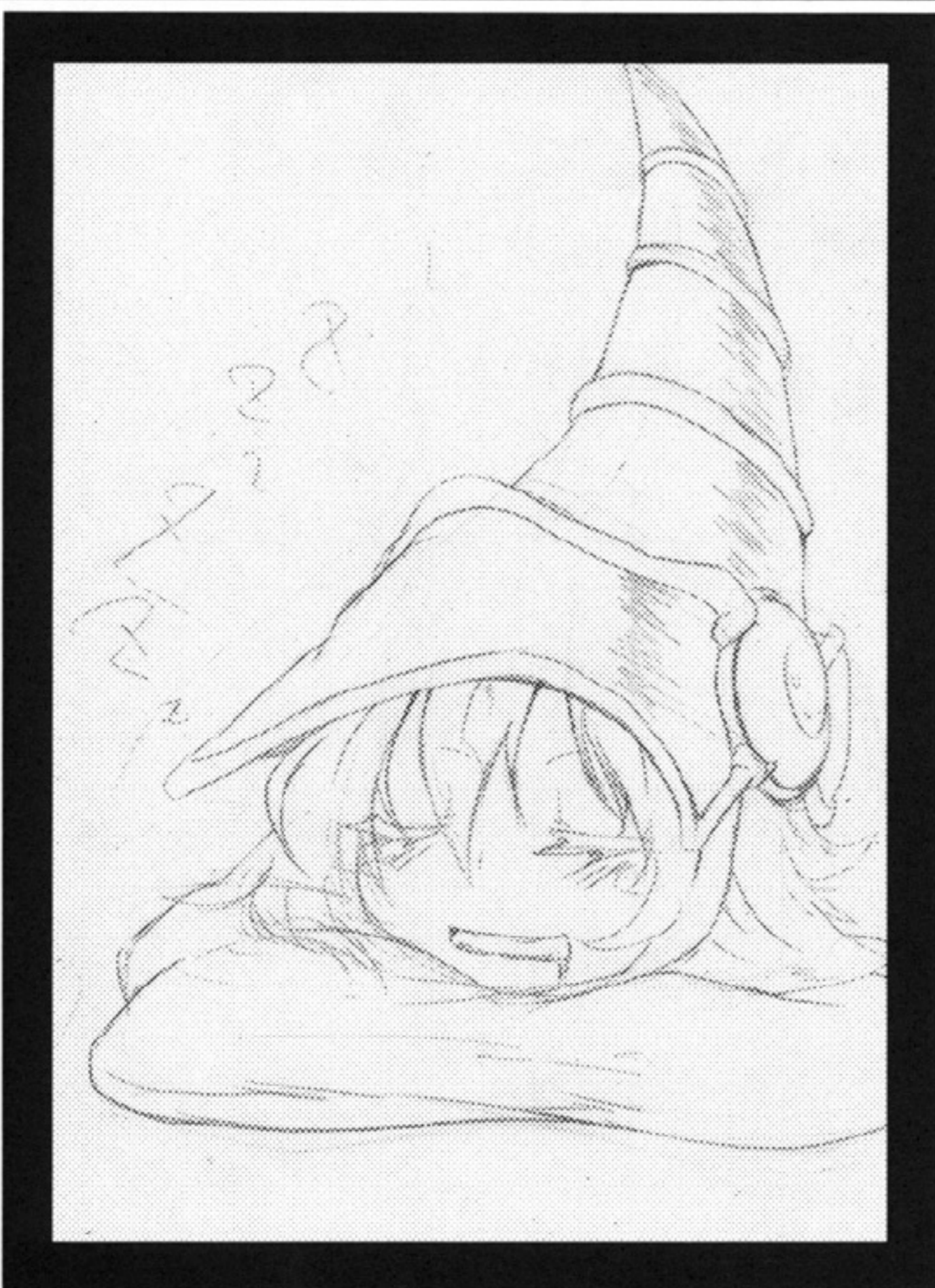
それでも私は…



いっしょ

巻
紙

うん、こっちのほうがよかったと思っていますよ



■マジさん

古代のエジプトに住まう精霊の魂
マナさんはこの精霊と契約し
魔法少女

ブラック・マジシャン・ガールとなる
この契約の対価として
マナさんは魔物の退治をしている
ノルマを達成するまでは死ぬこと
ができなくなるというほぼ
呪いとなっており、そのためマナさん
は現代でも魔物と戦う魔法戦士と
なっているのである

見た目は生首だが実際は首である
必要はないがエネルギー効率等
を考えてこの見た目で生活している

寝るのが大好き!!

いろいろな設定はあるが
本編では全く活かされませんでした

始めに、この本を手にとって頂き、さらに最後まで読んで頂き
誠にありがとうございます

そんな方に少しでも楽しんでいただけたら幸いです

今回は触手と「ブラック・マジシャン・ガールさん」でした、以前より描きたかった
題材でしたのでとても楽しく書くことができました。

いろいろとトラブルもありましたが何とか形にすることができよかったです
はじめの変身シーンは描きたかっただけです、申し訳ありません

そのせいで、最初にマナさんが出てきてそれっきりになってしまったのが少
し心残りですので何かネタがあったらマナさんオンリー一本とか作りたいですね

あ、期待しないでください

次は受かっていけば冬にヤエちゃん1冊作りたいたいと思っております

また機会がありましたら、よろしく願いいたします。

以上

夢乳導 九導



夢乳導
九導
は
し
か
か
り
と
ぬ
こ

■発行日 2013/08/12

■発行者 夢乳導
九導

■連絡先 mu,new.do.kudo@gmail.com

■印刷 株式会社 緑陽社 様



夢乳導のえろほん
うすい本 五号